



VIBRAPHONE

YV-600E / YV-500E

METALLOPHONE

YT-300D / YT-280D

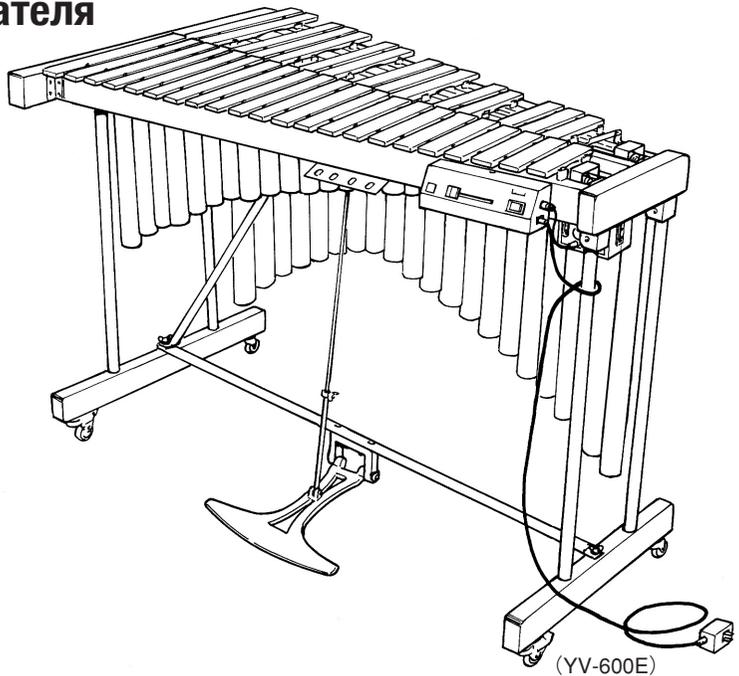
取扱説明書

Owner's Manual

Руководство пользователя

使用手冊

사용설명서



『安全上のご注意』(2ページ)を必ずお読みください。

Make sure to read the "PRECAUTIONS" on page 12.

Обязательно прочтите разделы «МЕРЫ БЕЗОПАСНОСТИ» на стр. 14.

务请阅读第 26 页“注意事项”。

28 페이지의 “예방 조치” 을 반드시 읽어 주십시오 .

日本語

Русский / English

한국어 / 中文

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、

お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、右表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

分解禁止

 コントローラーやドライバーを分解したり、改造したりしないでください。
火災、感電の原因となります。

 修理 / 部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。
必ずお買い上げの販売店に相談してください。

取り扱い

 楽器にがたつきや異音、振動があるときはすみやかに使用を中止し、各部のねじを締めなおしてください。
楽器が倒れてけがをすることがあります。

 キャスターやペダルの下などの可動部分には、絶対に手や足を入れないでください。
はさまれてけがをすることがあります。

 回転中のファンに触れないでください。
手をはさまれることがあります。

 次のような場所での使用や保存はしないでください。
火災、感電の原因となります。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近くなど）
- 水気の近く（風呂場、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 雨水のかかる場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所

 楽器のまわりで遊ばないでください。
身体をぶつけてけがをすることがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりであそばないように注意してください。

 楽器にもたれかかったり、乗ったりしないでください。
楽器が倒れてけがをすることがあります。

電源 / 電源アダプター

 電源アダプター使用時、電源アダプターの電源プラグは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでください。
100V 以外では火災、感電の原因となります。

 電源アダプター使用時、電源アダプターの電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。
電源コードに傷がつき、火災、感電の原因となります。

 ドライブユニットに、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れないでください。
火災、感電の原因となります。

 次のような場合は、直ちに電源を切って電源アダプターなどを取り外し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

- 電源アダプターの電源コードやプラグが破損したとき
- 異物がドライブユニットの内部に入ったり、液体がこぼれたとき
- ドライブユニットが（雨などで）濡れたとき
- ドライブユニットに異常や故障が生じたとき

運搬 / 設置

 楽器の組み立てはかならず 2 人以上で行なってください。
1 人で作業すると楽器が倒れてけがをしたり、楽器が破損する可能性があります。

 正しい手順で組み立ててご使用ください。
誤った組み立て状態では、楽器が倒れてけがをすることがあります。

 楽器を移動するとき以外は、必ずキャスターのストッパーを左右 2ヶ所ともかけてください。
楽器が移動したり倒れたりして、けがの原因となります。

 楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

 キャスターを利用しての移動は、滑らかな平坦面でのみ行ってください。
傾いた所や凹凸のある道、じゃり道などでは楽器が倒れたり暴走してけがをするおそれがあります。

 キャスターを利用して移動するときには走らないでください。
楽器が止まらなくなって、壁にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

 持ち上げて運ぶ際は、必ず2人以上で、側枠を両手で持って運んでください。
1人や側枠以外の場所を持つと楽器が分解したり転倒してけがをするおそれがあります。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

取り扱い

-  楽器の上に物をのせないでください。
音板や枠を傷める原因となります。
-  マレットは演奏目的以外には使用しないでください。
けがや事故の原因となります。お子様が人の身体をたたくなど、危険な行為をしないように注意してください。
-  音板をグロッケン用マレットや、その他の硬いものでたたかないでください。
音板にへこみやキズができたり、音律が狂う原因ともなります。
-  コントローラーやドライバーは乱暴に取り扱わないでください。
内部回路が損傷するおそれがあります。
-  音板のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。汚れが取れないときは、柔らかい布にエチルアルコールを少量含ませてご使用ください。シンナーやベンジン、濡れぞうきんなどは絶対に使わないでください。
音板の表面塗装を侵すなど、楽器を傷める原因となります。

電源 / 電源アダプター

-  電源アダプターの電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。
-  長時間使用しない場合は、電源スイッチを切り電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  必ず付属の電源アダプターをお使いください。
他の電源による障害は、保証期間内でも保証できない場合もございますので、十分ご注意ください。

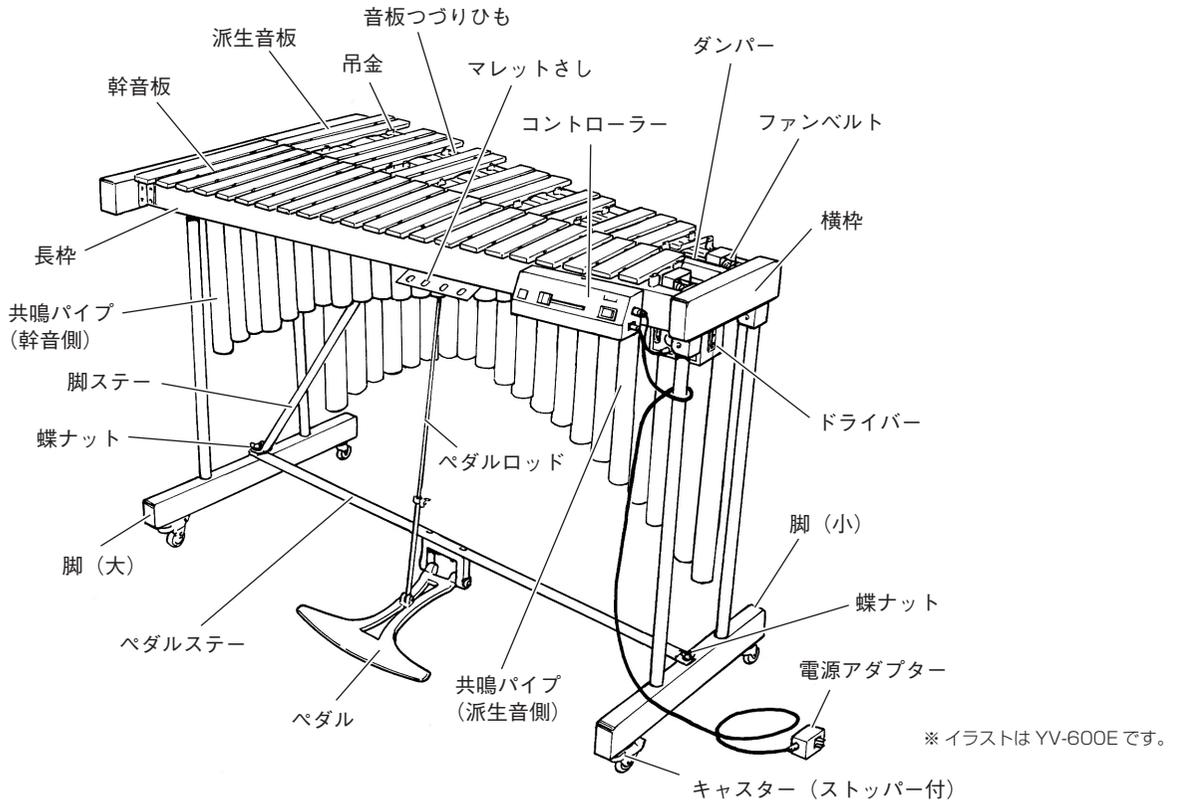
運搬 / 設置

-  移動の際には、必ず電源コードを外してから行ってください。
コードを傷めたり、お客様が転倒するおそれがあります。
-  移動の際は、衝撃を与えないように静かに運んでください。
楽器が破損する原因となります。

■ 注記（ご使用上の注意）

- ・ 脚部のネジは、位置が決まったらしっかりと締め付けて固定してください。
ゆるんだ状態で使用すると演奏中に楽器がずれたり、雑音が出たり、トラブルの原因になります。またこれらのネジは時々締め直してお使いください。
- ・ 風通しの良い所で使用してください。
- ・ 劣化した摩耗部品の交換は、お買上げ店へご相談ください。
スイッチ・ボリューム・接続端子などの部品は、使用とともに性能が劣化するために“摩耗部品”といわれています。劣化の進行度合は、使用環境などによっても大きく異なりますが、劣化そのものを避けることはできません。
- ・ 移動の際にはキャスターのストッパーが解除されていることを確認してください。また、平らな床面以外では、少し持ち上げるようにしてください。
安定して移動することができます。
- ・ 頻繁に移動するような場合は、各部のボルト類がゆるむことがあります。
移動後には、ゆるみをチェックし、ゆるんでいる場合は締めてください。
- ・ ご使用にならないときは、必ずキャスターのストッパーをかけておいてください。

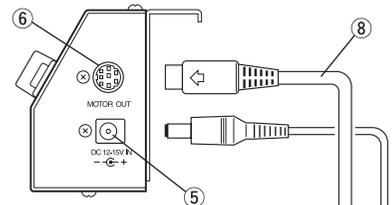
各部の名称



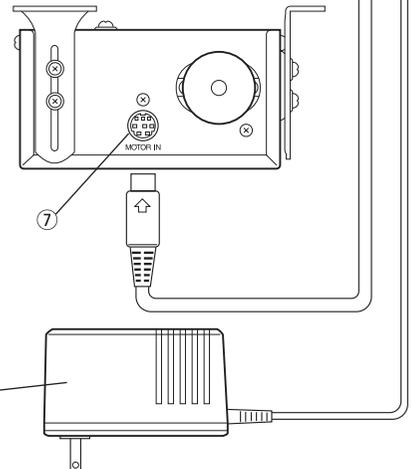
■ ビブラフォン・ドライブユニット

- ① 電源スイッチ (POWER)
電源のオン/オフを切り替えます。
- ② スライドボリューム (MOTOR SPEED)
ファンの回転スピードを調節します。
- ③ LED ランプ
電源オンで点灯します。ファン回転中は点滅します。
- ④ スタート/ストップボタン (START/STOP)
ファンの回転をオン/オフします。
- ⑤ 電源端子 (DC 12-15V IN)
- ⑥ モーター出力端子 (MOTOR OUT)
- ⑦ モーター入力端子 (MOTOR IN)
- ⑧ 8p-DIN ケーブル
- ⑨ 電源アダプター

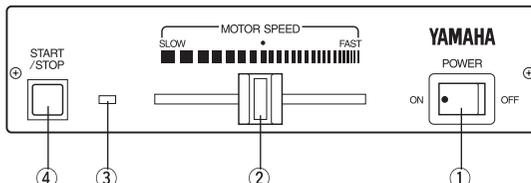
● コントローラー (右側面)



● ドライバー (奏者面)



● コントローラー (奏者面)

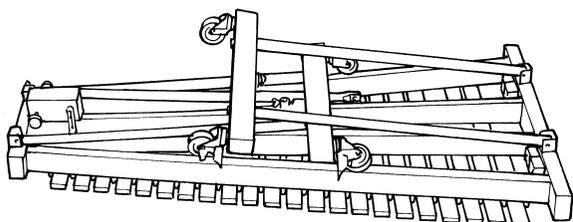


部品の確認

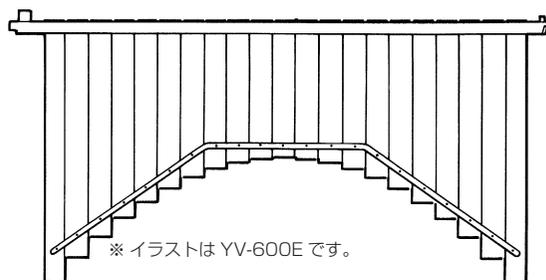
YV-600E/500E, YT-300D/280D の梱包箱の中には、以下の部品が入っています。
組み立ての前に、すべての部品がそろっていることを確認してください。

※ 部品が不足している場合は、お買い求めになったお店へご連絡ください。

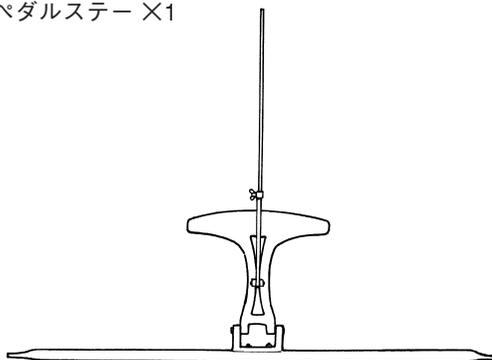
- ① 本体 ×1 (音板 / 枠 / 脚 / ステー / ダンパー / ドライバー (YV-600E/500E のみ))



- ④ 共鳴パイプ (派生音側) ×1



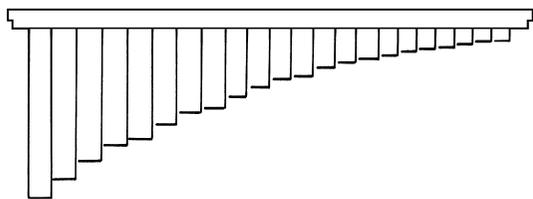
- ② ペダルステー ×1



- ⑤ マレット ×1

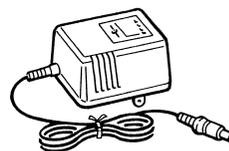
- ⑥ 音板カバー ×1

- ③ 共鳴パイプ (幹音側) ×1

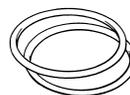


※YV-600E/500E のみ

- ⑦ 電源アダプター ×1

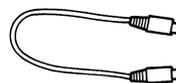
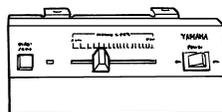


- ⑧ 丸ベルト (ファンベルト) ×2



- ⑨ コントローラー ×1

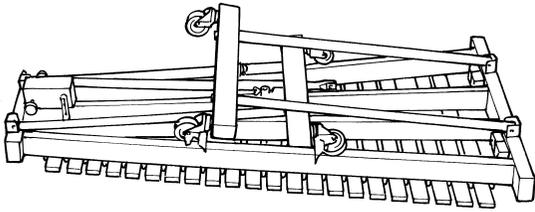
- ⑩ 8p-DIN ケーブル ×1



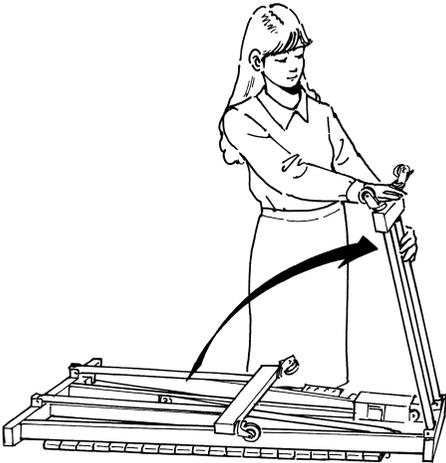
組み立て方

※ 組み立ては 2 人以上で行なってください。

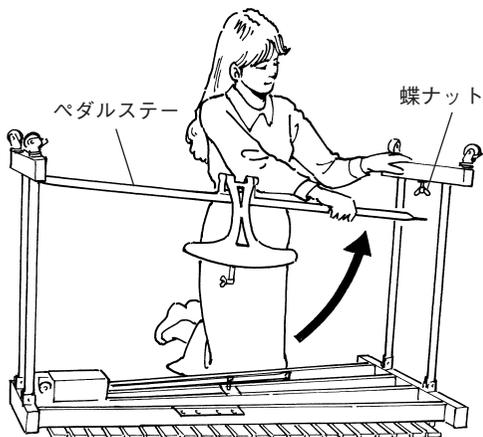
1. 十分なスペースをとり、床にじゅうたん、または柔らかい布を敷いた上に本体を裏返します。



2. 左右の脚を開き、蝶ナットを十分にゆるめておきます。



3. ペダルステータを取り出し、まず高音側から固定します。ペダルステータを差し込んだ後、蝶ナットを締めてください。

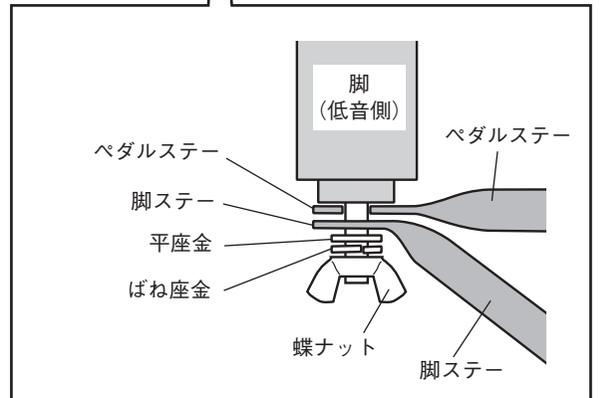
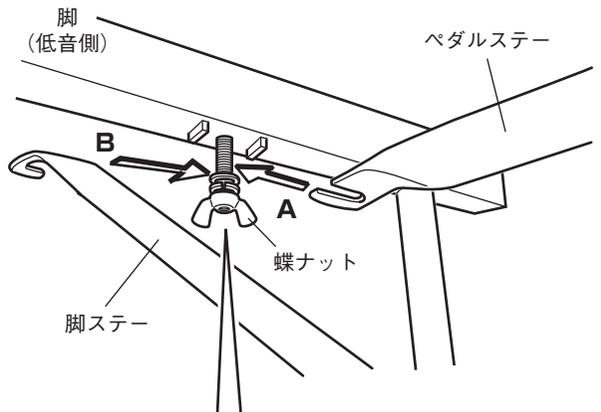


低音側は、最初にペダルステータを **A** の方向に差し込み、その下に脚ステータを **B** の方向に差し込んで固定します。このときばね座金と平座金は、低音側は蝶ナットと脚ステータの間、高音側は蝶ナットとペダルステータの間にくるようにし、しっかりと蝶ナットを締めてください。

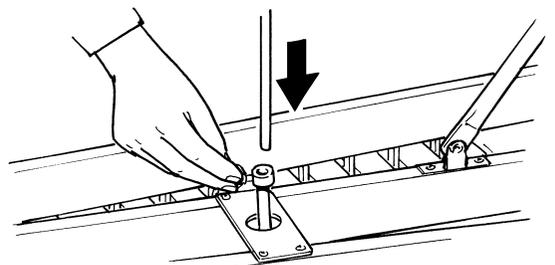


注意

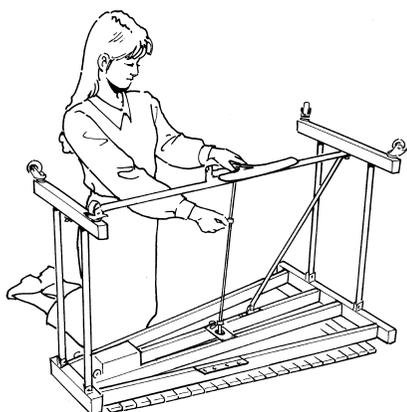
ばね座金と平座金は、脚ステータとペダルステータの間やペダルステータと脚の間に入れてください。固定がゆるんで楽器が倒れたり、けがをすることがあります。



4. ペダルロッドをダンパーに蝶ネジで固定します。

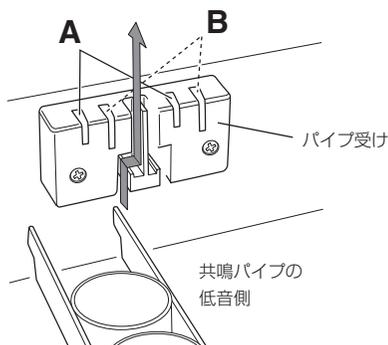
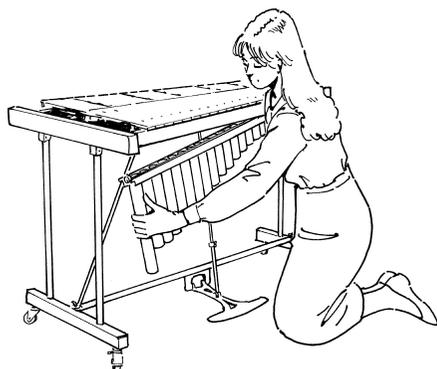


5. ペダルロッドとペダルを蝶ネジで仮止めしてください。



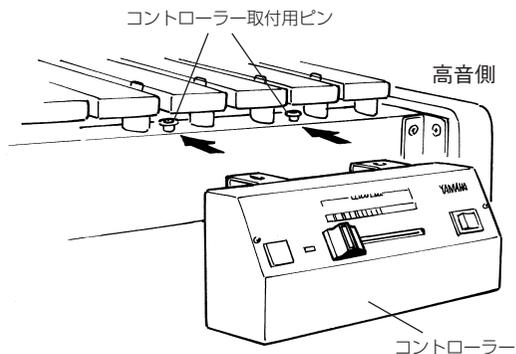
6. 本体を起こします。

7. 共鳴パイプを横枠の溝に高音側から差し込みます。共鳴パイプの低音側をかける場合は、パイプ受けの真ん中の溝を通して持ち上げます。室温が22℃以上の場合は浅い方(A)へ、22℃以下の場合は深い方(B)へかけてください。

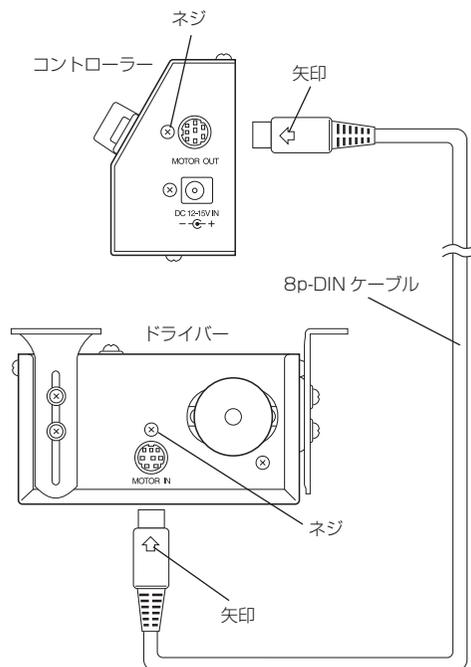


YT-300D/280Dの組立は、この後「11.ペダル踏みしろの調整」(→8ページ)をし、各部のネジがしっかりと締まっていることを確認したら完了です。

8. コントローラーを取り付けます。長枠の高音側上面にコントローラー取付用ピン(2本)があります。このピンに、コントローラーの2つの穴を合わせて片側ずつはめ込みます。



9. ドライバーとコントローラーとを接続します。ドライバーのMOTOR IN端子とコントローラーのMOTOR OUT端子とを、付属の8p-DINケーブル*で接続します。ケーブルのプラグ部分の矢印(⇨)が各端子のネジ側に向くようにして、接続します。



※8p-DINケーブルを紛失された場合は、以下のNo.にてご注文ください。

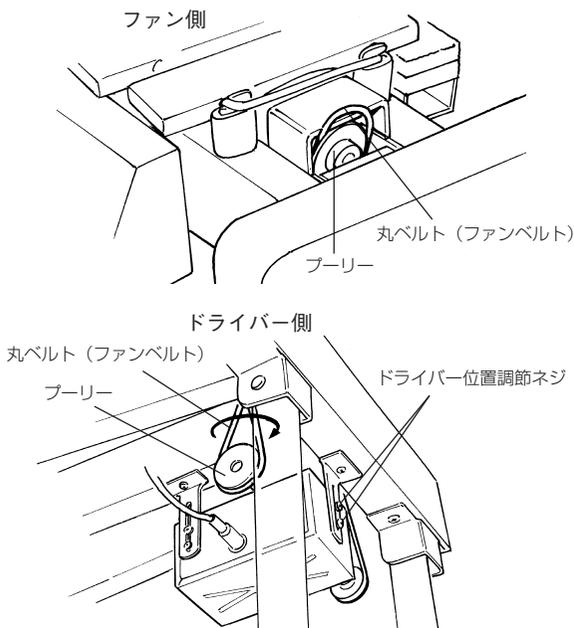
Part No.	部品名称	仕様
W5172200	8p-DINケーブル	L=220

組み立て方

- 10.** 丸ベルト（ファンベルト）* を取り付けます。
 まずファン側プーリーに丸ベルト（ファンベルト）をかけ、次にドライバー側プーリーにねじるようにしてかけます。

サービスを実施される方へ

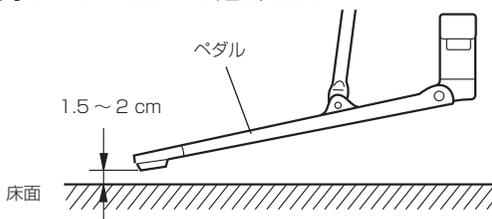
プーリーの間隔が広すぎてベルトがかかけられない場合や、逆に間隔がせまくてベルトが空回りする場合は、ドライバー位置調節ネジ（下図）2本をゆるめてベルトの張り具合を調節してください。調節後は、しっかりとネジを締めておいてください。



* ファンベルトを紛失された場合は、以下の No. にてご注文ください。

モデル	YV-600E/500E
Part No.	W5 128070
各部名称	ファンベルト
仕様	3 マル L236

- 11.** ペダル踏みしりを調整します。
 センターロッド固定ネジをゆるめ、センターロッドの長さを調整してから再び固定ネジを締めて、ペダルの踏みしりを調整します。ペダルと床面の間は 1.5 ~ 2cm が適当です。



- 12.** すべて組み上げたら、各部のネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

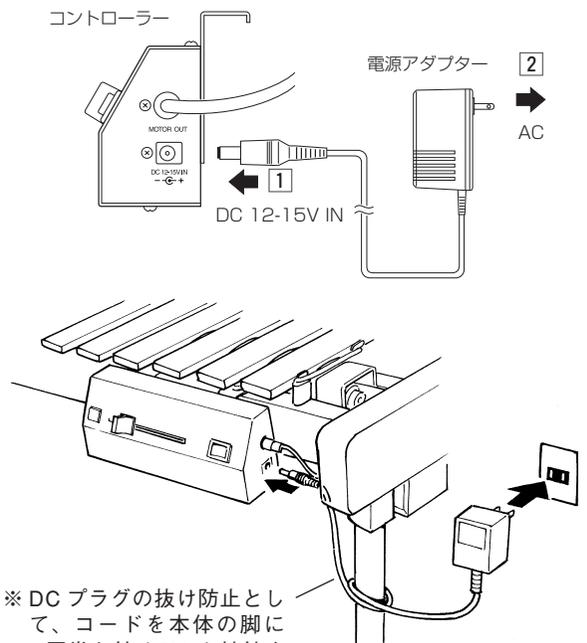
- 13.** 以上で本体の組立は完了です。
 続いて、付属の電源アダプターをコントローラーの電源端子（DC 12-15V IN）に接続します。

14. 電源の準備

付属の電源アダプターを用意します。

必ず付属の電源アダプターをご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障の原因となります。このような場合の故障は、保証期間内でも保証いたしかねます。

- 1 電源アダプターの DC プラグをコントローラーの電源端子（DC 12-15V IN）へ差し込みます。
- 2 電源アダプターの AC プラグを家庭用コンセント（AC100V）に差し込みます。



* DC プラグの抜け防止として、コードを本体の脚に1回巻き付けてから接続することをおすすめします。

仕様

■ YV-600E

- 音域 = C40 ~ C76 (3 オクターブ)
- 音板材 = 高力アルミニウム合金
- 音板幅・厚さ = 36 mm・13 mm
- 寸法 (間口 × 奥行 × 高さ) = 115 × 67 × 78 cm
- 質量 = 35 kg
- ドライブユニット = YVM-100
- 定格回転数 = 25 ~ 145 RPM
- 電源アダプター = YAMAHA AC アダプター PA-3C (D.C. 12 V, 700 mA +⊖-)
- 消費電力 = 4.7 W
- 付属品 = 音板カバー、マレット (ME-303)

■ YV-500E

- 音域 = C40 ~ C76 (3 オクターブ)
- 音板材 = 高力アルミニウム合金
- 音板幅・厚さ = 32 mm・10 mm
- 寸法 (間口 × 奥行 × 高さ) = 106 × 62 × 78 cm
- 質量 = 28 kg
- ドライブユニット = YVM-100
- 定格回転数 = 25 ~ 145 RPM
- 電源アダプター = YAMAHA AC アダプター PA-3C (D.C. 12 V, 700 mA +⊖-)
- 消費電力 = 4.7 W
- 付属品 = 音板カバー、マレット (ME-303)

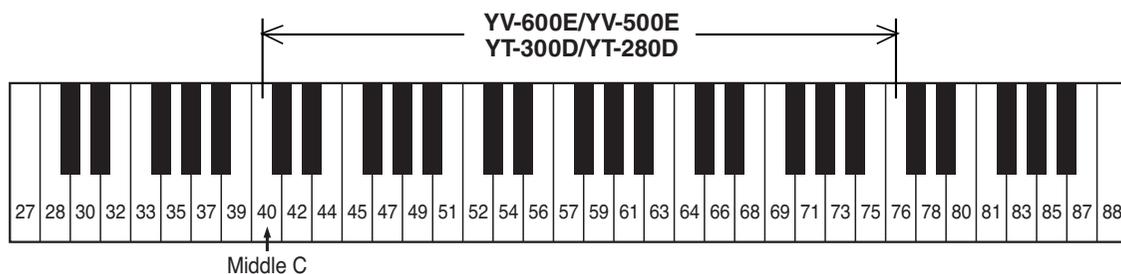
■ YT-300D

- 音域 = C40 ~ C76 (3 オクターブ)
- 音板材 = 高力アルミニウム合金
- 音板幅・厚さ = 36 mm・13 mm
- 寸法 (間口 × 奥行 × 高さ) = 115 × 67 × 78 cm
- 質量 = 31 kg
- 付属品 = 音板カバー、マレット (ME-302)

■ YT-280D

- 音域 = C40 ~ C76 (3 オクターブ)
- 音板材 = 高力アルミニウム合金
- 音板幅・厚さ = 32 mm・10 mm
- 寸法 (間口 × 奥行 × 高さ) = 106 × 62 × 78 cm
- 質量 = 24 kg
- 付属品 = 音板カバー、マレット (ME-302)

● 音域表



※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。
取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

